

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

法人名	活動法人ケンパ・ラーニング・コミ
施設名	ケンパ西馬込
施設所在地	大田区西馬込1-16-18

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

食育～つくる・見る・触る・食べる・気づく～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

今までの過去年度も食育には力を入れて活動しており、農作物を園庭で栽培し収穫したり、給食に提供される食材に触れるところから簡単な調理するところまで年齢に応じた活動を行ったりしてきた。そのため進級した子どもたちは今年はどんな野菜を育てようか等と期待を持っている様子が見られた。また毎年「ぶりの解体ショー」を行ったり、毎年数回「ランチトリップ」(世界の国々や日本の地域を紹介し、給食でその土地の料理を提供し、食を通して文化に触れる)という特徴的な活動を行ったりしてきた。今年度も引き続き食育活動の計画をしていく中で、十分な予算を当てられることができれば、子どもの声に耳を傾けより良い体験を提供できるのではないかと考え、すくわくテーマにすることを決定した。

## 2. 活動スケジュール

年長クラス：5/12野菜の苗選び、5/15～栽培、6/11,26～収穫、実食。

年少クラス：9/18アボカド食育,9/19～アボカド栽培

乳児クラス：7/10食材に触れる、10/9～柑橘系植物、柿の観察、

全体：10/17果物食べ比べ、10/31収穫祭、11/14ぶり解体、11/25みかん収穫、

幼児クラス：11/28 みかんジュース作り、みかんの皮で足湯。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

野菜の苗、土、鉢底石、プランター、

各種野菜、果物、ブリ、果樹園(移動式)

#### 4. 探究活動の実践

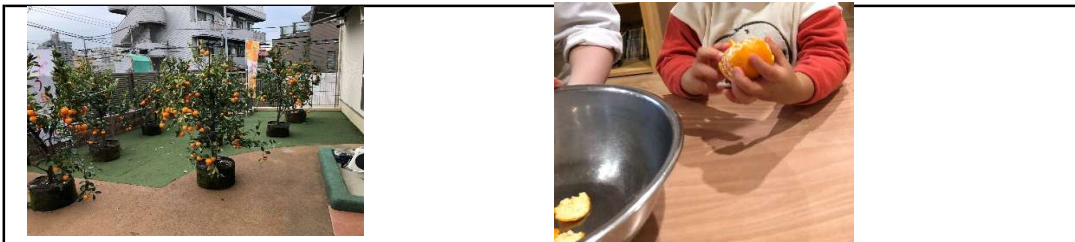
##### <活動の内容>

日々の給食や食育で食べたり触れたりした野菜や果物について、食べ物が口に入るまでに、どんな種から育ち、実際にどのように実るのか、という興味を抱き、自分たちで何を育ててみたいかを選んだり、育てるための環境を考えたり、育てる中で日々の植物の成長・変化に気付きを得たり、そして加工して食べる、食べた後に通常廃棄してしまう皮に思いを巡らせたり、と食べる前後の過程について探求した。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

少人数グループに分けて継続した活動を行うことで、子どもたち同士が五感で感じたこと、気付いたこと、「どんな匂い?どんな色?」「この木は何か?」「育ててみたい?どんな芽がでるのかな?」「この皮を使って何ができるかな」といった保育者の問い掛けに考えたことなどを共有しながら「〇〇してみようよ」、と次に何をしたいか、という活動の展開に繋げていけるよう保育者が見守りながら促した。(全体活動の場合も小グループに分けて実施)



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

みかん収穫を発端に「潰してジュースを作る」「皮を乾燥させる」「乾燥した皮をお湯で戻す」といった感触活動を行い、そこから他の果物でもやってみたい!と、どんどん活動が繋がっていった。果物によっては硬くて潰せない、味がしない、など失敗と試行錯誤を繰り返し、子どもも先生も一緒に考えて活動を行っていった。身近な素材で行ったからこそ子どもたちの発想も多岐に渡り、次は凍ったバナナでやってみたい!とまだまだ活動は広がりを見せている。